

「第67回 小平南西部地域コミュニティ交通をみんなで考える会」の報告

- 開催日時：令和4年11月9日（水）14時～15時25分
- 出席人数：会場7人（欠席13人） 傍聴：3人

1 南西部地域の特性に即した新たな交通手段の研究

(1) 前回の振り返りと確認

公共交通課より説明

- ・運行乗降場所の候補地の検討（グループワーク）
- ・居住地付近のエリアごとに分かれて、乗降場所の候補地として、公共施設・公園・スーパーマーケット・店舗など、誰もが分かりやすい視点で、バランスを考慮しながら地図上にシールを貼った。
- ・行き止まりやカーブの途中、大きな交差点の近くは避けるように、安全性を考慮しながら検討した。

質疑

- ・デマンド交通は、子ども料金の設定を考えているのか。
- （公共交通課）運賃設定については、一般的には大人の半額になるのではないかと考える。
- ・コミュニティタクシーには、1日70人という目標人数があるが、デマンド交通ではどうか。運賃設定のシミュレーションがあったが、運賃が300円の場合、何人乗れば目標を達成するのか。
- （公共交通課）平日の8時30分から17時30分までの1日8時間の運行時間で、1回の予約につき40分かかると想定すると、1日12回運行することができる。1回の予約で3人乗った場合、1日36人となり、運賃収入は年間260万円程になる。コミュニティタクシーの場合は、運賃150円で、70人乗ると運賃収入が年間252万円となるので、コミュニティタクシーと同程度の収入となるためにはデマンド交通の場合、1日36人乗れば目標を達成することができるかと考える。

(2) 今回の検討内容

①乗降場所の候補地の検討（居住地付近のエリアごとに分かれてグループワーク）

- ・（座長）資料1の他市で実績のある方式をミックスした④案をベースに引き続き検討し、新たな⑤案として運行パターンを考えていく。
- ・公共交通課より、検討のチェックポイントや作業内容について説明

<検討チェックポイント>

- ・人が集まる場所
- ・利用しそうな方が住んでいるエリア
- ・乗降場所の安全性や妥当性を考慮する

<作業内容>

- ・大きいシール →公共施設、公園、スーパーマーケット、コンビニ、病院、クリニック、駅やバス停などの乗継ぎの場所
- ・小さいシール →利用が多そうなエリア（交通が不便なエリア、高齢者が多く住んでいるエリア、人が集まるエリア）
- ・乗降場所の安全性や妥当性をチェックしながらシールを貼った。
 - 安全に乗降や待機できる場所か、交差点や横断歩道の前後から5m以内は不可、駐車場や車庫から3m以内は不可、安全に車両とすれ違いできるか、行き止まりの道路は不可、乗降場所の前後にカーブは不可、乗降場所付近の住民の理解が必要、民間バス路線やタクシーと競合しないかなどをチェックする。
- ・次回までに、公共交通課で乗降場所の一覧をつくってもらう。
- ・安全性については、現場や交通量を確認し、警察に相談しながら整理していく。
- ・店舗や民家前は乗降場所の設置の同意を得る必要があると考える。
- ・地図に落とし込んだ乗降場所と候補地一覧を元に、妥当か検証していく。

②デマンド交通運行事業者（トーショー交通）への視察の報告

公共交通課より、東久留米市で運行しているデマンド交通（くるぶー）を視察した内容について説明

<確認内容>

- ・予約は電話で受け付けており、利用者は登録番号、氏名、利用時間、乗車地、目的地、乗車人数を伝え、オペレーターは車両の空き状況を確認し予約を入れる。往復の予約が可能。
- ・1日3台の車両で運行し、予約は10～12件程。
- ・運行開始当初は乗合での利用が少なかったが、新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着き、利用者数が伸びてきたことから、同じ時間帯で乗車場所と目的地が近い場合は、できる限り乗合で運行するように受け付けている。
- ・現在、オペレーターがシステムの地図で場所や運行時間を想定して予約を受けているが、AI検索して受け付けることも可能。

<公共交通課の所感と今後の動き>

- ・乗合の予約を受けるには、オペレーターに土地勘や距離感がないと判断が難しいのではないかと考える。
- ・デマンド交通の配車方法や受付方法について、効率性や利便性を踏まえ改めて検討し、専用の配車システム等のAIの活用も選択肢の一つではないかと考える。
- ・引き続き、デマンド交通の配車システムについて、情報収集していく。
- ・先月末から、三鷹市の大沢地区で、デマンド交通の実証実験を開始したので、視察し情報収集する予定。

2 その他

(1) 市からの情報提供

- ・アンケート調査は約2,000件回収し、半数がWeb回答によるものであった。
- ・ヒアリング調査は、コミュニティバスやコミュニティタクシーの利用者に対し、120件程実施した。
- ・ワークショップは、全2回の連続講座で16人が参加した。コミュニティ交通をみんなで考える会からは、2名の方が参加された。
- ・にじバス協議会やコミュニティタクシーを考える会等の意見交換会を、12月に2回に分けて開催予定。詳細が決まったら案内する。

(2) 参加団体からの情報提供

特になし

《今後の予定》

第68回 令和4年12月14日（水）14時から開催 ※場所 小川公民館 ホール

次回は、

- ・運行パターン④をベースに、乗降場所の候補地などについて、検討する。
- ・地図に落とし込んだ乗降場所と候補地一覧を元に、乗降場所として妥当か検証する。